MITSUBISHI

0511874HA0602

三菱温水ルームヒーター

形名

VFH-58F

取扱説明書

● ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください

● 取扱説明書は大切に保存してください。

省エネで 守る環境 豊かな暮らし

もくじ

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

安全のために必ず お守りください

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

図記号の意味は、次のとおりです。

絶対に行なわないでください。

絶対に触れないでください。

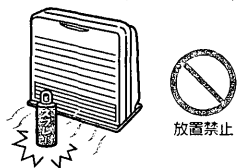
絶対に分解・修理・改造はしないでください。

必ず指示に従い、行なってください。

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

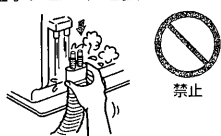
⚠警告

スプレー缶厳禁

（殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに放置しない）

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発の危険。

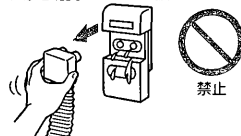
温水チューブを抜かない

（運転中や停止直後は、本体から温水チューブを抜かない）

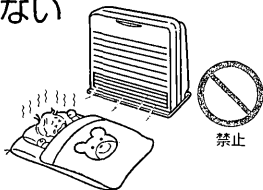
禁止

熱湯が吹出してやけどの原因。

温水プラグを抜かない

（運転中や停止直後は、温水コンセントから温水プラグを抜かない）

禁止

熱湯が吹出してやけどの原因。

温風に直接あたらない

禁止

直接長時間あたると低温やけど・脱水症状の原因。

指や異物を入れない

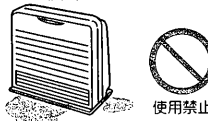
（温風吹出口や本体内部に指や棒・紙・布・プラスチックなどの異物を入れない）

禁止

けが・故障の原因。

異常時使用禁止

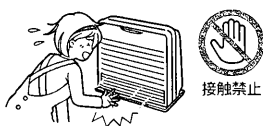
（温水の漏れや臭いなど異常を感じたときは使用しない）

使用禁止

感電・けがの原因。

運転スイッチを押して「切」にし、電源プラグを抜いてからお買上げの販売店へご連絡ください。

高温部に触れない

（温風吹出口や温水チューブなどの高温部に触れない）

接触禁止

やけどの原因。

分解修理・改造の禁止

分解禁止

けが・故障の原因。

故障や破損した場合は使用しないでください。

防錆循環液を幼児の手の届くところに置いたり、飲んだりしない

万一、飲んだ場合はすぐにはかせて医師の診断を受けてください。

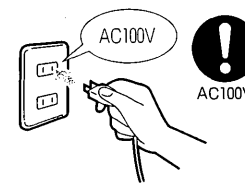
⚠注意

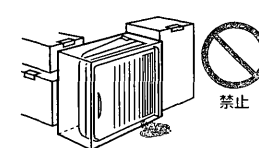
電源コードを傷めない

禁止

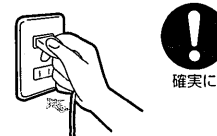
- コードを持って電源プラグを抜かない
- コードの上に重いものを載せない
- 高温部に近づけない
- コードの継ぎ足しやタコ足配線をしない

火災・感電・故障の原因。

AC100Vのコンセントを使用する

200V他のコンセントを使用すると火災・感電の原因。

傾けたり、横倒しのまま保管しない

温水（防錆循環液）が漏れて床を汚したり故障の原因。

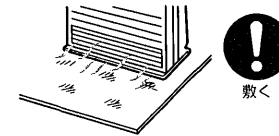
電源プラグを確実に差込む

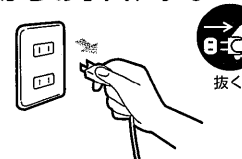
確実に

差込みが不完全な場合や傷んだプラグ・ゆるんだコンセントを使用すると火災の原因。

電源プラグのお手入れを

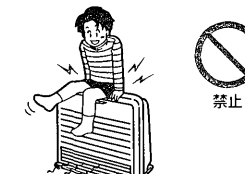
（定期的にプラグを抜き、乾いた布でほこりや金属物などを除去する）

ほこりなどがたまると、湿気等で絶縁不良になり、火災の原因。

熱に弱い床面のときは熱に強いマットなどを敷く

熱に弱い床面やカーペットで長時間使用すると、床面の変色やそり返り、ひび割れをすることがあります。

本体が冷えたあと、電源プラグを抜いてからお手入れする

感電・やけどの原因。

上に乗らない、物を置かない

禁止

けが・本体破損の原因。

お願い

防錆循環液のかわりに水や自動車用不凍液を使用しない

循環液には

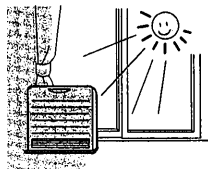
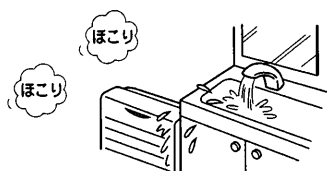
三菱純正防錆循環液

（濃度50％調整品　VPZ-10KX-ECO, VPZ-18KX-ECO）を必ず使用してください。

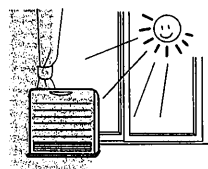
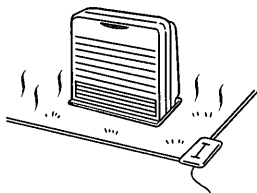
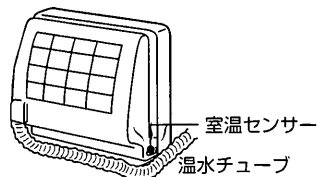
（水や自動車用不凍液を使用すると防錆効果が異なり、ポンプロック・釜なり・システム寿命低下等の原因になります。）

〔補給時も三菱純正防錆循環液をご使用ください。〕

次の場所には設置しない

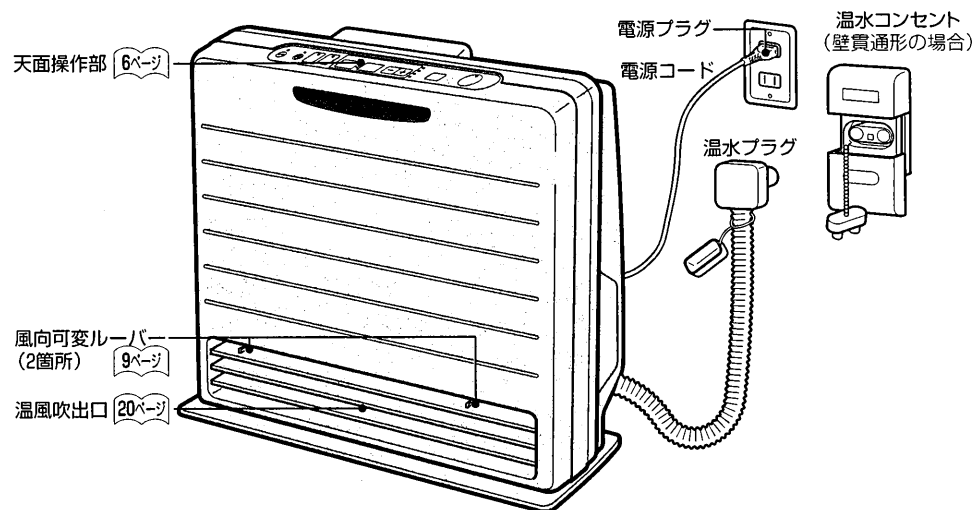
日光が直接当る場所

ほこり・湿気・金属粉が多い場所

故障・変色の原因。

室温センサーに熱を加えない（室温センサーは本体側面についています。）

直射日光を当てない

電気カーペットや床暖パネル・カーペットの上などに置かない

温水チューブを近づけない

本体の室温表示が高くなり、部屋が暖まらない原因。

各部のなまえ

前面

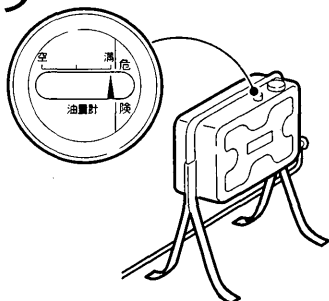
別売の温水プラグと温水コンセントを取付けたときの図です。

背面

操作部・表示部のなまえとはたらき

天面操作部

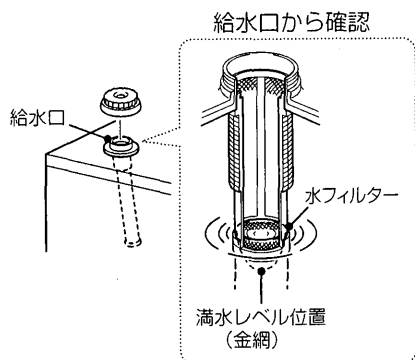
確認と準備

室外の確認（詳しくは暖房用ボイラの取扱説明書をご確認ください。）

油タンク

1 油タンクに灯油が入っていることを確認する

⚠注意
- 停止してから給油する
- 油量計の目盛「満」以上に給油しない
- こぼれた油をよくふきとる
- 給油口ふたを紛失しない
- 給油後、給油口ふたをよく締める

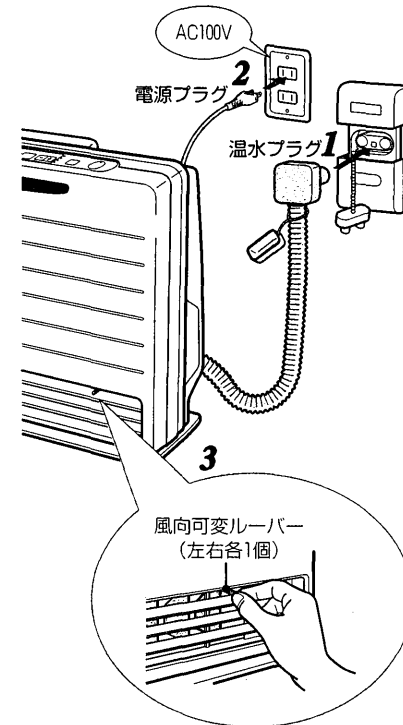
火災・故障の原因。

防錆循環液

2 防錆循環液の水位確認・・・開放式のみ

- 暖房用ボイラの表示窓の「循環液不足」ランプが点滅しているか確認します。ランプが点滅しているときは防錆循環液を給水口から補給します。（補給の目安:約1 ℓ）
  →防錆循環液が不足しますと、空だき防止装置が作動して運転を停止します。
- 水フィルターに満水レベル位置がありますので、金網部の位置まで防錆循環液が入ったか確認します。

お願い
防錆循環液を満水レベル位置以上に入れないでください。
本体下部のオーバーフローチューブから防錆循環液があふれ出します。

室内の準備

温水ルームヒーターの準備

1 温水プラグを差込む

「カチッ!」と音がするまでまっすぐ差込みます。

傾いた状態で差込むとパッキンを傷める可能性があります。

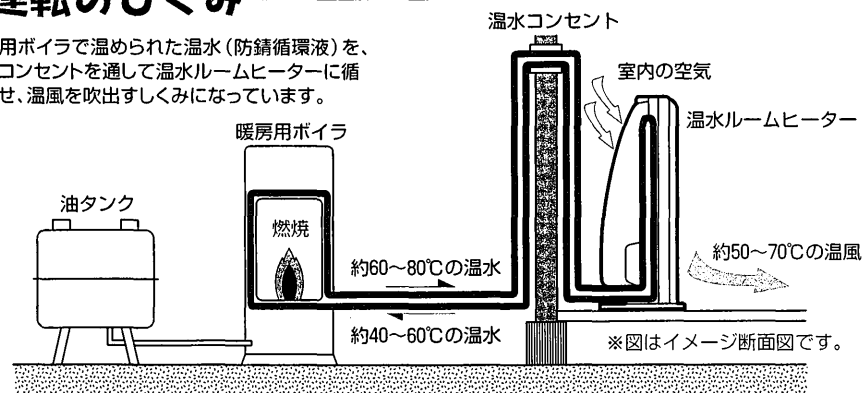
2 電源プラグを差込む

（アース線を接続する場合は、本体背面のアース端子を使用して接地してください。）

3 温風吹出口の向きを決める

風向可変ルーバーで温風の吹出す方向を左右に変えられます。

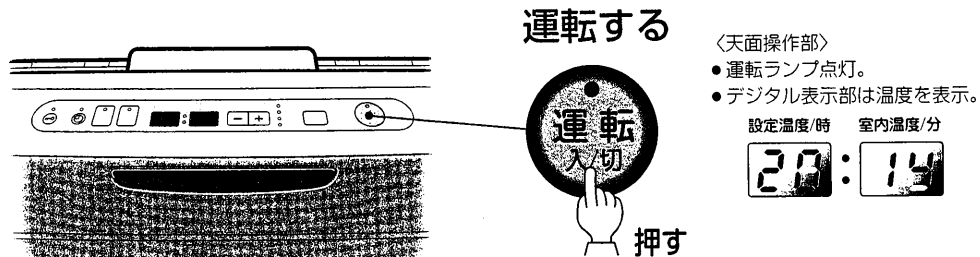
運転のしくみ

暖房用ボイラで温められた温水（防錆循環液）を、温水コンセントを通して温水ルームヒーターに循環させ、温風を吹出すしくみになっています。

運転する・停止する

運転スイッチを押して温水ルームヒーターを運転します。

運転する

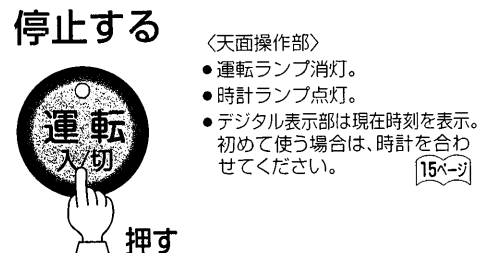
〈天面操作部〉
- 運転ランプ点灯。
- デジタル表示部は温度を表示。

設定温度/時　室内温度/分

○運転ランプが早点滅している（何か問題がある）ときは運転しません。24ページ

約10分後、暖房用ボイラが燃焼開始

さらに約2分後、温風が出ます

停止する

〈天面操作部〉
- 運転ランプ消灯。
- 時計ランプ点灯。
- デジタル表示部は現在時刻を表示。初めて使う場合は、時計を合わせてください。15ページ

温風が止まります

○停止後、約2分間は温水（防錆循環液）が循環します。

○運転開始時や停止時、本体からきしみ音（コトッ!やピシッ!）が聞こえますが、これは温水（防錆循環液）の熱により、本体が膨張・収縮しているときに出る音で、異常ではありません。23ページ

温度を調節する

温度/時刻 設定スイッチを押して、設定温度を10～30℃の範囲で変えることができます。

上げるときは

運転中に

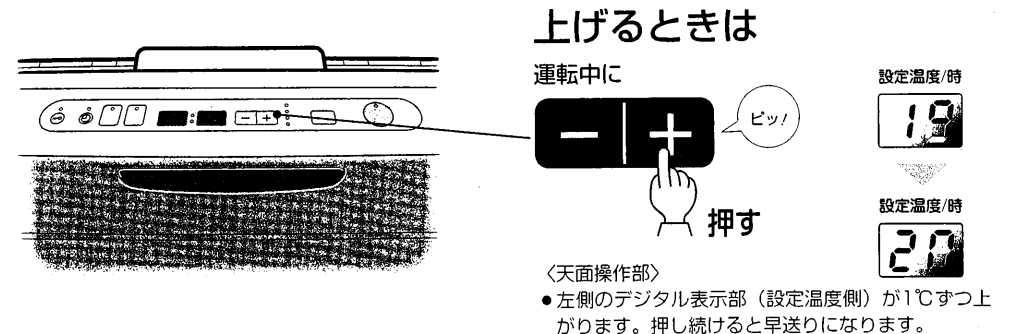
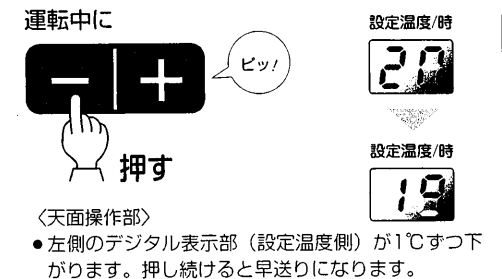
〈天面操作部〉
- 左側のデジタル表示部（設定温度側）が1℃ずつ上がります。押し続けると早送りになります。

下げるときは

運転中に

設定温度/時　20

設定温度/時　19

〈天面操作部〉
- 左側のデジタル表示部（設定温度側）が1℃ずつ下がります。押し続けると早送りになります。

○電源プラグをコンセントから抜いたり停電したときは、設定温度は20℃になります。

○室内温度の表示は、本体側面にある室温センサー付近の温度です。設置条件により必ずしも室温とは一致しません。

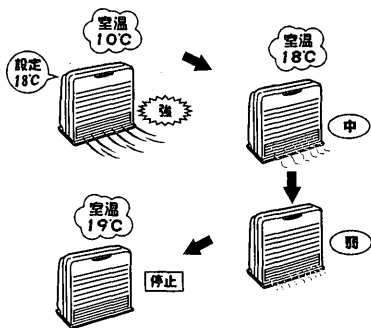
温風を切換える

温風切換スイッチを押して、温風の種類を下記の4つの中から選ぶことができます。

選べる温風の種類

※日常お使いになる場合には、自動運転でのご使用をおすすめします。

● 自動

設定温度に応じて風量を「強～弱、停止」に自動的に切換えて、室温をコントロールします。

室温が設定温度より約2℃上がると自動的に温風を停止します。

● 強

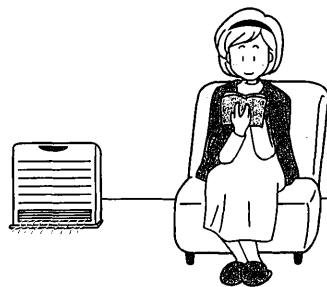
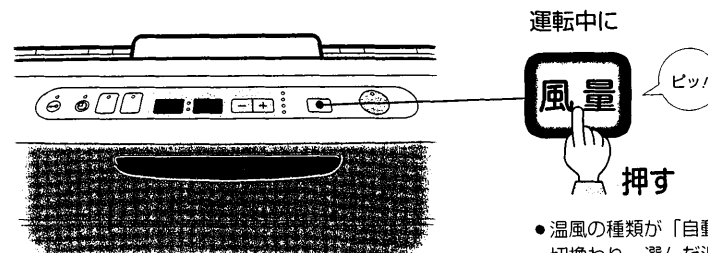
お部屋を早く暖めたいときに便利です。

お部屋が暖まったら「自動」に切換えて、ご使用ください。より一層の快適暖房が得られます。

● 中

テレビなどを見ながら、暖まりたいときに便利です。

● 弱

読書のときなど、静かに暖まりたいときに便利です。

操作のしかた

● 温風の種類が「自動→強→中→弱→自動…」の順に切換わり、選んだ温風ランプが点灯します。

○「中、弱」の場合、室温が設定温度まで上がらない場合があります。

ロックしておくと、お子さまやペットなどによるいたずら操作を防ぐことができます。

ロックする

チャイルドロック

ピッ!

3秒以上押す

〈天面操作部〉

● チャイルドロックランプ点灯。

ロック(ランプ点灯)**すると**

○ 運転スイッチを「入」にしても運転ランプとチャイルドロックランプが早点滅し、運転しません。
→運転する場合は、チャイルドロックを解除してください。

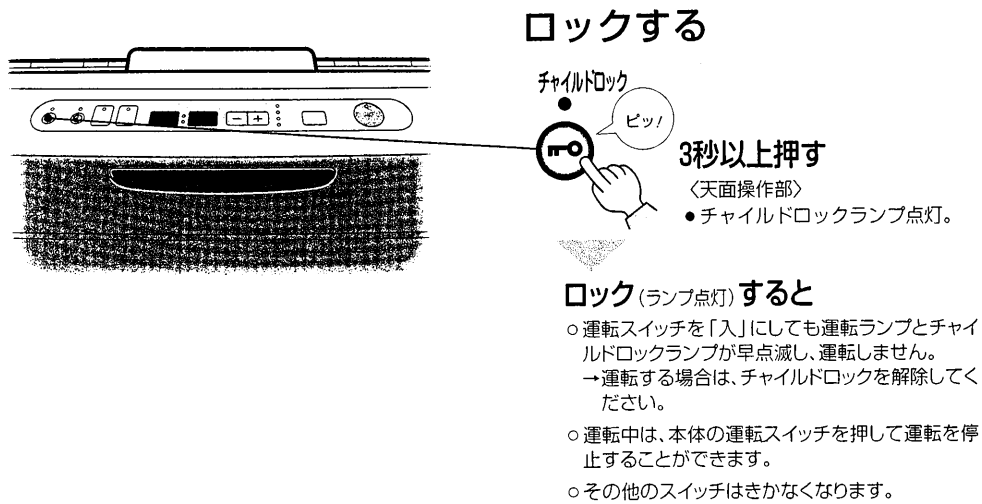
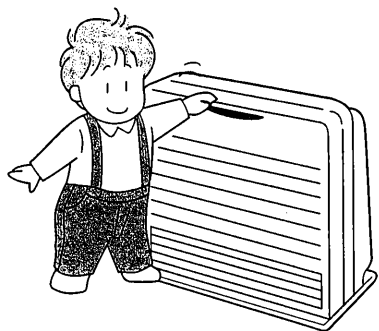
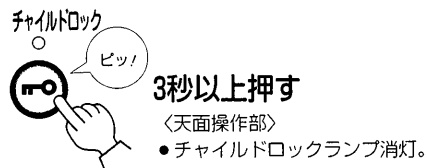
○ 運転中は、本体の運転スイッチを押して運転を停止することができます。

○ その他のスイッチはきかなくなります。

解除する

3秒以上押す

〈天面操作部〉

● チャイルドロックランプ消灯。

タイマーを使う

時計を合わせる

タイマー運転を使うために、あらかじめ時計を合わせておきます。

1 時計合わせにする

ピッ!

3秒以上押す

〈天面操作部〉

● 時計ランプ点滅。

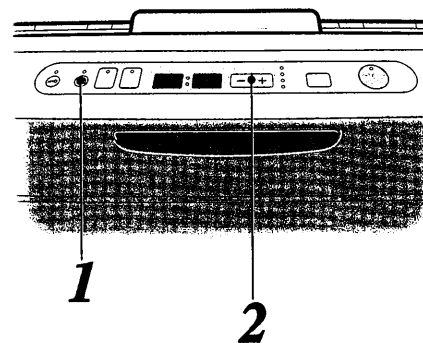
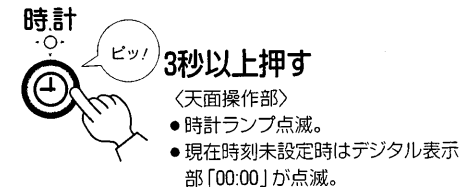
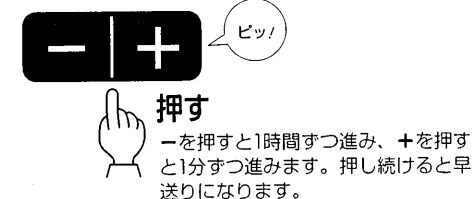
● 現在時刻未設定時はデジタル表示部「00:00」が点滅。

2 現在時刻に合わせる

時計ランプ点滅中に

ピッ!

押す

－を押すと1時間ずつ進み、＋を押すと1分ずつ進みます。押し続けると早送りになります。

例 現在時刻、午後2時30分(14時30分)に合わせる場合

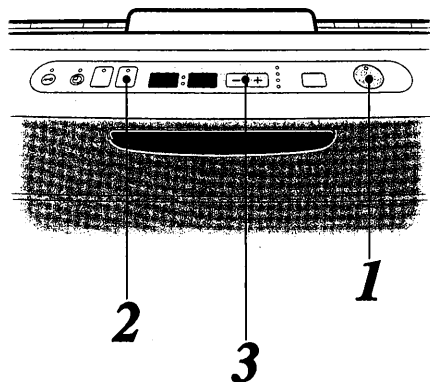
設定温度/時　室内温度/分

約10秒経過すると
時計ランプが点灯して
時計合わせ終了

○ 時計合わせのまま約10秒間、何も操作しないと、時計合わせは自動的に終了します。時計を合わせ直すときは、もう一度時計スイッチを3秒以上押してください。

○ 電源プラグをコンセントから抜いたり停電したときは、消えてしまいます。もう一度時計を合わせ直してください。
(タイマーセットも同じです。16ページ 18ページ)

お目覚めに（入タイマー運転）

お目覚めのときなど、前もってお部屋を暖めておきたいとき「入タイマー」を使うと、
設定した時間に運転することができます。

運転開始時刻をセットする

※その前に時計を合わせてください。15ページ

1 運転スイッチ「切」のときに

〈天面操作部〉
- ●運転ランプ点灯。
- ○運転（運転ランプ点灯）中は操作2から行ないます。

2 入タイマー運転をセットする

〈天面操作部〉
- ●入タイマーランプ点滅。
- ●最初はデジタル表示部「5:00」が点灯。

3 運転したい時刻に合わせる

−を押すと1時間ずつ進み、+を押すと5分ずつ進みます。押し続けると早送りになります。

例 朝7時30分に運転したい場合

設定温度/時　室内温度/分

約10秒経過すると
入タイマーランプが点灯して
セット終了

（一度運転開始時刻を合わせると、次回からは同じ時刻に運転を開始します。3の操作が省略できます。）

- ○入タイマーのまま約10秒間、何も操作しないと入タイマーセットは自動的に終了します。運転開始時刻を合わせ直すときは、もう一度入タイマースイッチを押してください。
- ○通常の運転中に入タイマースイッチを押すと入タイマー（操作2）の状態になります。
- ○現在時刻未設定時は、入タイマー時刻は設定できません。
  - ●入タイマーランプ点灯。
  - ●デジタル表示部［5:00］点滅。

運転開始時刻の10分前に暖房用ボイラが運転を開始

およそ運転開始時刻になると
温風が出ます

- ●運転ランプ点灯。
- ●入タイマーランプ消灯。
- ●入タイマー時の温風ランプが点灯。

運転を停止するときは

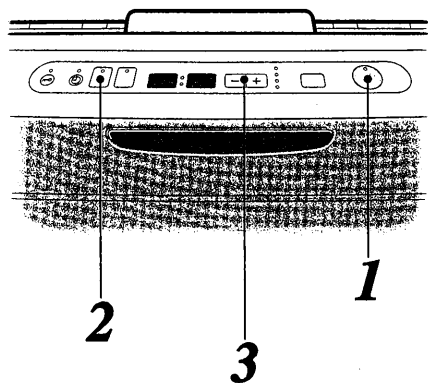
〈天面操作部〉
- ●運転ランプ消灯。

入タイマーセットを解除する

入タイマーセット（入タイマーランプ点灯）中に

〈天面操作部〉
- ●入タイマーランプ消灯。

おやすみに（切タイマー運転）

おやすみのときなど「切タイマー」を使うと、設定した時間に運転を停止することができます。

運転停止時刻をセットする

※その前に時計を合わせてください。15ページ

1 運転スイッチ「切」のときに

〈天面操作部〉
- 運転ランプ点灯。
- ○運転（運転ランプ点灯）中は操作2から行ないます。

2 切タイマー運転にする

〈天面操作部〉
- 切タイマーランプ点滅。
- 最初はデジタル表示部「23:00」が点灯。

3 停止したい時刻に合わせる

−を押すと1時間ずつ進み、＋を押すと5分ずつ進みます。押し続けると早送りになります。

例 夜10時30分（22時30分）に停止したい場合

設定温度/時　室内温度/分

約10秒経過すると
切タイマーランプが点灯して
切タイマー運転開始

（一度運転停止時刻を合わせると、次回からは同じ時刻に運転を停止します。3の操作が省略できます。）

もう少しつけておこう・・・

- ○切タイマーのまま約10秒間、何も操作しないと切タイマー運転は自動的に開始します。運転停止時刻を合せわ直すときは、もう一度切タイマースイッチを押してください。
- ○現在時刻未設定時は、切タイマー時刻は設定できません。
  - 切タイマーランプ点灯。
  - デジタル表示部〔23:00〕点滅。

運転停止時刻になると運転停止

温風が止まります

- 運転ランプ消灯。
- 切タイマーランプ消灯。
- デジタル表示部「*OFF*」が点灯。

〈天面操作部〉
- デジタル表示部は現在時刻を表示。

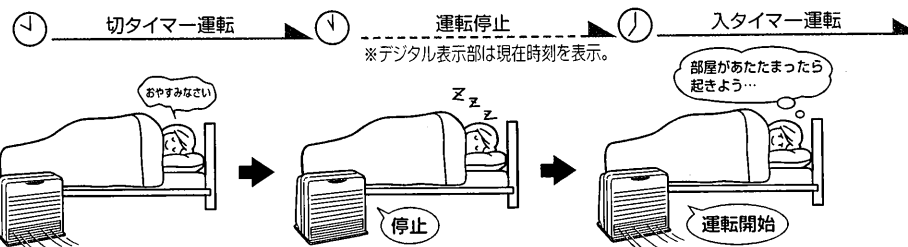
切タイマー運転を解除する

切タイマー運転（切タイマーランプ点灯）中に

〈天面操作部〉
- 切タイマーランプ消灯。

こんな使いかたもできます

夜10時（22時）に寝るとき、1時間だけ運転（23時に運転を停止）して、翌朝7時に運転したいとき。

おやすみ前に切タイマーを23時00分に→入タイマーを7時00分に合わせます

（入タイマー→切タイマーにすることもできます。）

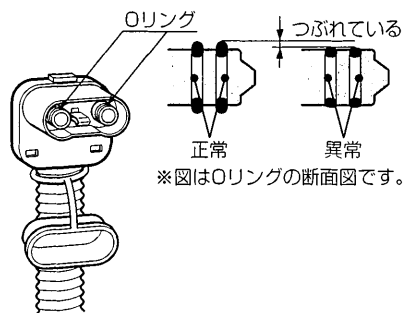
日常点検とお手入れ

⚠注意
本体が冷えたあと、電源プラグを抜いてからお手入れする→感電・やけどの原因。

⚠注意
分解修理・改造をしない
けが・故障の原因。

使いはじめ

温水プラグのOリングを点検する

Oリングがつぶれたり変形、傷、めくれ等がないか確認する

異常があるときは使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡してください。
→温水漏れの原因になります。

温水漏れを点検する

本体や温水チューブ、温水コンセントなどから温水（防錆循環液）が漏れていないか確認する

漏れがあるときは使用を中止して温水プラグを抜き、温水をふきとってからお買上げの販売店にご連絡してください。

週に1回以上

カテキンエアフィルターを掃除する

ブラシ付ノズルの掃除機でほこりを吸い取る

本体・温風吹出口を掃除する

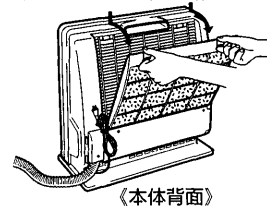
やわらかい布でからぶきするか、薄めた台所用中性洗剤をしみ込ませた布でふく

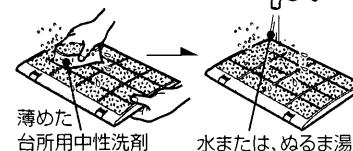
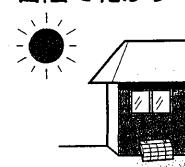
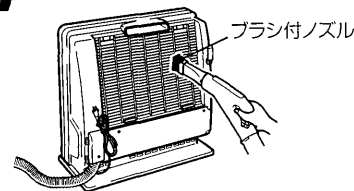
ベンジンやシンナーでふかない
→塗装を傷める原因になります。

月に1回以上

カテキンエアフィルターを掃除する

1 はずす

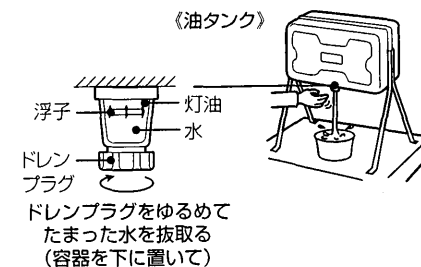
フィルターつまみ（2箇所）を下に押しながら

《本体背面》

2 洗う

3 日陰で乾かす

4 本体背面を掃除する

5 カテキンエアフィルターを元どおりに取付ける

油タンクの水抜きをする

水がたまっているときは、浮子が浮いています。
浮子が沈んでいるときは、必要ありません。

《油タンク》

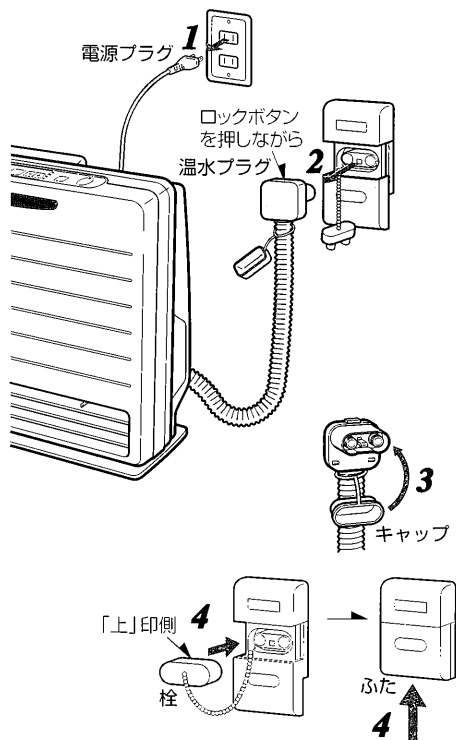
ドレンプラグをゆるめて
たまった水を抜取る
（容器を下に置いて）

抜取ったあとは、ドレンプラグをしっかり締める
→ゆるんでいると灯油漏れの原因になります。
詳しくは、暖房用ボイラの取扱説明書に従ってください。

2年に1回

防錆循環液の点検

防錆循環液は2年に1回の点検（液量・濃度）と、劣化状態によっては交換が必要ですので、お買上げの販売店に依頼してください。
（所定期間以上過ぎますと、防錆循環液の性能が低下し、凍結、破損、腐食の原因になります）

保管する（シーズンオフや長期間使用しないとき）

運転スイッチを押して「切」にし、本体が冷えて（10分以上待って）から行なってください。

1 電源プラグを抜く

2 温水プラグをはずす

温水プラグの先端から温水が落ちることがありますので、雑巾などを当てて抜いてください。

3 キャップを付ける

4 栓をしてふたを閉める

5 本体を保管する

据付ける場合は、逆の手順で行なってください。

故障かな？ 故障ではありません。

次の症状は故障ではありません。

	症状	原因と処置方法
運転	運転スイッチを押しても温風が出ない	●運転スイッチを押してから暖房用ボイラが運転するまでに約10分、本体から温風が出るまでにさらに約2分程度必要です。 ➡そのままお待ちください。 10ページ ●設定温度が低すぎませんか? 風量切換が「強」「中」「弱」の場合、室内温度が設定温度より上がると温風を停止します。「自動」の場合、設定温度より2℃上がると温風を停止します。 ➡設定温度を上げてください。 11ページ ●温水チューブが折れ曲がっていませんか? ➡温水チューブの折れ曲がりを直してください。
	部屋が暖まらない 暖まりにくい	●暖房用ボイラの湯温設定が低くなっていませんか? ➡ボイラリモコンで湯温設定を上げてください。 ●暖房用ボイラに異常はありませんか？ ➡ボイラリモコンを確認してください。※1 ●電気カーペットや床暖パネル・カーペットの上に本体をのせていませんか? ●室温センサーの近くに温水チューブがありませんか? ➡室温センサーから離してください。 ●カテキンエアフィルターにほこりがつまっていませんか? ➡カテキンエアフィルターを掃除してください。 20ページ 21ページ
	室温が設定温度になっていないのに温風が停止したり、風量が弱くなる	●暖房用ボイラの最大能力を超えた運転をすると温水（防錆循環液）の温度が低下するため、運転を自動的に停止したり風量が弱くなることがあります。 ➡温度が上がると元の運転に戻ります。
音	運転開始時または運転停止後「コトッ!やピシッ!」という音が聞こえる	●温水（防錆循環液）の熱により、本体が膨張・収縮しているときに出る音です。
	運転中に、流水音「ジュジュ、ジュジュ」が聞こえる	●温水チューブが折れ曲がっていませんか? ➡温水チューブの折れ曲がりを直してください。

※1．暖房用ボイラにエラーが発生した場合は、一旦各部屋の温水暖房機の運転を全て「切」にし、暖房用ボイラの取扱説明書に従ってください。

異常のお知らせと処置のしかた

ランプとデジタル表示部で異常をお知らせします。

表示		原因 [安全装置]	処置方法
運転ランプ早点滅 (運転 入/切)		電源プラグをコンセントに差込むまえに運転スイッチを「入」にしていませんか？	運転スイッチを押し直す。
		停電がありませんでしたか？ [停電安全装置が作動]	
		室温センサーの近くに熱いものがありませんか? 室温センサーが温水プラグのホースにふれていませんか?	原因を取除き、運転スイッチを押し直す。
	チャイルドロックランプ早点滅	チャイルドロック中に運転スイッチを「入」にしていませんか？	チャイルドロックを解除する。14ページ
全ランプ消灯		停電中ではありませんか？	運転スイッチを押し直す。
		機器本体の電源プラグが抜けていませんか？	機器本体の電源プラグを入れ、再運転する
デジタル表示	F1	送風用モーター回転数異常	電源プラグを抜き差しし、再度同様な表示が出た場合には、電源プラグを抜き、お買上げの販売店にデジタル表示の内容をご連絡ください。
	E2	水温サーミスター断線または、短絡検知	
	A1・A6	マイコン異常	
	A2	周波数判定エラー	

各安全装置が作動すると、暖房用ボイラは運転停止します。
（他の温水暖房機で暖房用ボイラが運転されている場合は、暖房用ボイラは運転を続けます。）
上記にない異常表示が出たり、処置しても異常表示が消えないとき、または運転しないときは、運転スイッチを押して「切」にし、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店か、お近くの三菱電機お客さま相談センター（26·27ページ）にご相談ください。

部品交換と定期点検

部品交換について

長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。
お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で修理いたします。不完全な修理は危険です。
定期点検・交換部品の費用はお客さまにご負担いただきます。

定期点検のおすすめ

2シーズンに1回、定期点検をおすすめします。

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。未然にトラブルを防止し安心してご使用いただくため、シーズン終了後などに、お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（26·27ページ）、または修理資格者〔（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL:０３−３４９９−２９２８）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店で定期点検を受けてください。
定期点検・交換部品の費用はお客さまのご負担となります。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

当社は温水暖房定期点検制度を採用し、きめ細かなチェックと確かな技術で温水暖房システムの快適性を保ちます。是非販売店・工事店とメンテナンス契約を結ばれることをおすすめします。

保証とアフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この移動型放熱器の補修用性能部品を製造打切り後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◉「故障かな?と思ったら」(23ページ)にしたがってお調べください。

- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

◉修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◉修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◉ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱温水ルームヒーター
2. 形　　名　VFH-58F
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況（デジタル表示の内容等できるだけ具体的に）
5. ご 住 所（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理窓口へ

ご相談窓口へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口　電話受付：365日24時間

北海道地区

札　幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	帯　広 (0155) 35-3111 帯広市西15条南 14-1
旭　川 (0166) 26-5580 旭川市曙1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北　見 (0157) 25-7045 北見市並木町 500-5	小　樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧　路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函　館 (0138) 49-0345 函館市西桔梗町 589-57

K05B

修理窓口　電話受付：365日24時間

東北地区

青　森 (017) 773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184	秋　田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
八　戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8	横　手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2
盛　岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	大　館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
水　沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3	山　形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
仙　台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23	鶴　岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2	郡　山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
石　巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-268	会　津 (0242) 27-4426 会津若松市天寧寺町 3-7
古　川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1	原　町 (0244) 24-2842 原町市桜井町 1-173
	いわき (0246) 26-1822 いわき市小島町 1-2-2

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
京都府・滋賀県・愛知県・三重県・岐阜県
長野県（飯田地区）・石川県・富山県
福井県・広島県・山口県・島根県・鳥取県
岡山県・香川県・徳島県・高知県・愛媛県

フロントセンター関西
大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル
0120-56-8634

通常電話番号（携帯電話対応）
(06) 6454-3901

FAX
(06) 6454-3900

インターネット
http://www.melsc.co.jp

関東・甲信越地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県・山梨県
長野県（飯田地区除く）・新潟県・静岡県

フロントセンター東京
東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル
0120-56-8634

通常電話番号（携帯電話対応）
(03) 3424-1111

FAX
(03) 3424-1115

インターネット
http://www.melsc.co.jp

九州地区

福　岡 (092) 412-5333 福岡市博多区東那珂 3-1-21	熊　本 (096) 380-0211 熊本市石原 1-10-35
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区昭和 2-5-25	八　代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
佐　賀・久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20	大　分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
唐　津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50	宮　崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田150-1
長　崎 (095) 834-1116 長崎市丸尾町 4-4	延　岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市木原町 155-1	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
	沖　縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間 365日 24時間

■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日
■通常電話番号（携帯電話対応）03-3414-9655
■FAX 03-3413-4049

■ご相談対応　平　　日 9：00～19：00
　　　　　　　土・日・祝 9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K05B

保証とアフターサービス

こんなとき

仕様

形式の呼び		VFH-58F
種類		ファン付コンベクター
電源電圧及び周波数		AC100V・50-60Hz
定格消費電力	最大	26W
	最小	8W
※暖房能力	最大	5.81kW
	最小	1.0kW(温風切換自動時)
標準通水量		3.8ℓ／min
保有水量		0.63ℓ
最高通水温度		80℃
適用防錆循環液		三菱純正防錆循環液(VPZ-10KX-ECO,18KX-ECO)
騒音(正面)	最大	43dB
	最小	17dB
外形寸法(置台含む)		高さ485㎜×幅510㎜×奥行220㎜
質量		9kg

※は室温20℃の時の暖房能力です。

お客さまへ…後日、お問合せなどのために記入されると便利です。

形　名	VFH-58F	お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名	☎（　　）　－		

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川駒場町1番3号
電話 0573-66-2111